

----- 主な内容 -----

獨協学園歴史博物館(仮称)
いよいよ軌道に乗る.....新井孝重..... (1)
05年度総会・懇親会報告..... (4)
ひろば
獨協にはドイツ語を.....神谷善弘..... (4)
獨協中・高吹奏楽部第19回定期演奏会案内..... (6)
私の近況..... (6)
クラス会だより..... (12)
第64号・名簿の訂正..... (16)

「獨協通信」は同窓生により編集され、同窓会費で
作成されている同窓会報です。

なお、獨協中学・高等学校同窓会ホームページも
あわせてご覧ください。

(<http://www.dokkyo-mejiro.com/>)

第 65 号

平成17年12月10日発行

発行所 〒112-0014 東京都文京区関口3-8-1

TEL / FAX 03(3946)6352 (直通)

獨協同窓会 発行責任者 宮田和夫

獨協学園歴史博物館 仮称 建設 いよいよ軌道に乗る

獨協学園歴史博物館準備委員会代表・新井孝重(昭43卒)

(獨協大学経済学部教授)

このたび獨協学園では、長年の懸案であった歴史博物館が、ついに開設される運びとなった。わたしたちはこのことを、学園の根幹校である目白の中学高等学校同窓会員諸氏に、喜びをもってご報告する次第である。開設の場所は獨協大学キャンパス奥の緑に囲まれたところである。ここは獨協大学創立四十周年を記念して、大きな学術情報センターが建設されることになっており、この建物の一階正面に学園の博物館は開設されることになった。床面積は230㎡である。洒落たカフェテラスに隣接し、落ち着いた雰囲気的空間には、獨協学園の顔となりうるだけの美的かつ文化的な演出

が施されるはずである。

ギャラリー風のその空間には、獨協創立期から現代に至る学園クロニクルが、壁面グラフィックと動画映像、現物資料で展示され、西周先生から天野貞祐先生・関湊理事長らにいたる先達たちの「人」と「思想」が、近・現代史の流れの中で理解できるように構成されるはずである。また獨協目白ならびに各大学・中高歴代の校長・学長プロフィール、あるいはこれまで獨協が輩出した著明な学者・文化人の業績なども、PC検索装置で情報提供できるようにしたいと考えている。

館内に入って進行方向右側には「思索の現場」

として、天野貞祐先生の書斎の一部を正確に復元した一室を設けた。この復元書斎はすでにながらく、旧学園史編纂室隣りの天野記念室に設えられていたものであるが、今度はそれを装いを新たに、以前にもましてリアルに再現展示しようというものである。つぎに館内の突き当りの広い所には、無私むしの精神で天野先生をたすけ、学園の財政をひたすら支えぬいた関湊理事長の展示コーナーを設ける予定である。開館は2007年ごろになるうか。

*

ところで戦争とイデオロギー闘争に明け暮れた20世紀が終わり、わたしたちは21世紀が平和と繁栄の時代かと期待をした。だが、そのような期待はまったくの幻想でしかなかった、ということを実感しつつある。9.11事件以来世界も日本も、もろもろの事象を見るにつけ、20世紀よりさらに難しい時代に入ったと思ってしまうのである。情報科学技術は目くるめくすさまじい勢いで発展をとげているが、人間の質ともいべき知性、道理の感覚はむしろおとろえ、それはもはや民主主義を支える知的基盤さえ、崩壊させつつあると思えるほどである。

老人・弱者狙いの振り込め詐欺からカード犯罪・ヤミ金にいたるまで、カネにまつわる胸が悪くなるような犯罪はひきもきらない。人びとの頭には神経症とも言うべき「勝ち組・負け組」の弱肉強食意識がはびこり、世間では企業買収・株の買い占めばかりのIT長者や投資家が人生の勝利者のごとく持て囃されている。まるで虚業と拝金主義が時代と社会を席卷しているかのようである。

天野貞祐先生はかつて『道理の感覚』という書をあらわした。この書の全体を貫いているのは、まずもって人間の品位を尊敬する精神であり、「人間における人間たるものの主張を拒否せんとする凡ての勢力に対する不屈の抗争」「つるべ圧迫せられたる人間性に対する無限の同情」、そして人類性の理念である「道徳的人間価値」の承認であった。これらの全体をひっくるめて、天野先生は「道理の感覚」と表現された。

この書がでた1937年、日本は泥沼の日中戦争に足を踏み入れ、世間では挙げて「軍国」と「愛国」と「国粋」が叫ばれていた。そんな時代に「道理の感覚」（人間の尊厳・人格の尊重）を創唱された天野先生が、もし今のわが国の世相を見たら、



どのような発言をなさるであろうか。天野先生の著作に触れ、そしてご自宅の書齋に残されていた、まことに質素な調度・家具類を見るにつけ、そのようなことをつい考えてしまうのである。

*

さて、わたしたちは天野先生の思想をはじめ、幾多の先達が築きあげてきたよき伝統と誇るべき校風を、この博物館を通じて確認し顕彰しようと考えている。そうすることで、獨協に集う生徒、学生、教職員、父母、同窓のすべてが、本当に獨協に来てよかった、卒業してよかった、と思えるならば幸甚である。いくつもの教育研究機関が分立しながらも、学園の博物館を要に、高い誇りと矜持を共有するならば、それはよりいっそう強固な教育共同体を作り出すことにもなる。また、この博物館が未来の獨協学園に、未永く来し方を伝えとともに、これからの獨協学園の新しい理念をうみだす知的創造的な拠点ともなることを願っている。

つぎに、わたしたちはこうも考える。この博物館開設をもって、事足れりというわけではない、

と。学園史編さんの副産物として、蓄積された資料は歴大であり、それらを日本近代思想史、近代教育史などの研究者・学生に、ひろく開示し閲覧の便を提供する。また獨協の歴史はわが国の歴史（とくに明治期）のなかで、きわめて大きな位置を占めていたから、学園自身が何らかの研究体制を構築し、その成果を全国の研究者に向けて発信することも必要である。全国レベルの学界の中で、はずかしくない専門研究員を配置し、学術研究誌を公刊したいものである。

しかし上記の事業を含めるには、長期的な時間を要する。したがってとりあえずは、博物館建設が軌道に乗ったことをもって悦びとしたい。さいわい学園本部の谷口学氏は学園史顕彰の意味をよく理解され、熱意をもって博物館の建設にとりくまれている。そしてさらに氏は、将来的には上述のような体制を作ることの必要性をつよく感じておられる。私たちには心強い限りであることを付記しておきたい。なお、委員には同窓会から合田憲氏（昭和38年卒）、中学・高校より兼田信一郎氏（昭和52年卒）が加わっている。



05年度総会・懇親会報告

2005年6月18日、母校小講堂で2005年度の同窓会総会が開催されました。当日は天候もよく、多くの同窓生が出席し、協議事項について活発な発言がありました。

総会の初めに、新たに判明した物故者氏名が報告され、全員で黙祷し、故人の冥福を祈念しました。議事は2004年度収支決算案、2005年度の収支予算案が付議され全会一致で可決されました。昨年準備していましたが、会費納入会員に発送された旨の報告がありました。本年4月から個人情報保護法が施行され、個人情報の取り扱いについて慎重を期さなければならない時代となり、冊子体での同窓会名簿の発行についても検討が必要な時期に来ていることが話題になりました。今回の総会への出欠のご返事の中にも、同窓会名簿への掲載を断られてきた同窓生や取り扱いについての貴重なご意見を寄せられた方もあり、幹事会などで検討を

始めることが提議されました。

2006年度総会は2006年6月17日（土）開催されます。ご予約頂き、ご出席をお願いします。

総会に引き続いて椿山荘にて懇親会が盛大に開かれました。会員70余名、理事長をはじめとし多くの来賓の方々、旧教職員など総計120名の出席者でした。宮田会長が挨拶、水上忠理事長、永井伸一校長から祝辞があり、会にはぎやかに始まりました。バックには1945（昭和20）年卒、無量田蔵六氏のバンドによるウィーン音楽が流れて、毎年ながらの獨協同窓会らしい懇親会となりました。昨年同様会場は椿山荘一階の広い部屋で、部屋の前庭にもテーブル、イスなどが用意され、梅雨の晴れ間の夕刻の涼しい風に吹かれながらゆったりとした雰囲気でお話することができました。出席同窓会員も老・壮・青の諸兄及び今年の卒業生・新会員が世代を越えた話に花を咲かせていました。

ひろば

獨協にはドイツ語を 卒業生からの提案

神谷 善弘（昭57年卒）

前号(獨協通信64号)の『獨協生にはドイツ語を』では、「ドイツ・ドイツ語に慣れ親しむ」という柱を掲げ、「全ての生徒に最低1～2年(中学3年～高校1年、もしくは高校1年～高校2年)は伝統あるドイツ語教育を受けさせるべきではないだろうか」という提案をさせていただいた。

今回も、獨協の卒業生そしてドイツ語教育の研究者の立場から、母校のドイツ語教育への提案をさせていただきたい。

1. 獨協学園全体で考えるドイツ語教育を

ご存知のように、獨協学園には、三つの大学と二つの中学校・高等学校がある。従って、ドイツ語教育についても、学園全体で考えることが必要である。

例えば、獨協大学は「日本におけるドイツ年2005/2006」に因んで「獨協におけるドイツ年2005/2006」を企画し、学内外で、ドイツ文化に慣れ親しむための様々なイベントを開催している。このような企画こそ、学園全体のものとして捉え、獨協中学校・高等学校対象のイベントも行うことができなかったのだろうか。

来年2006年の6月～7月には、サッカーのワールドカップがドイツの12都市で開催される。中学生・高等学校生向けの楽しい催しを何か企画できないだろうか。

また、ドイツ語のカリキュラムについても、中学校・高等学校だけで考えるのではなく、獨協大学外国語学部ドイツ語学科の協力を得て、中高大連携のドイツ語のスペシャリストを育成するコースを設置するのも価値があるのではないかと。

2. ドイツ関係諸機関との交流を

もちろん、獨協中学校・高等学校による独自の積極的な活動も可能である。例えば、ドイツ関係諸機関との交流である。聞くところによると、最近

の卒業式にはドイツ大使館からの来賓が参列されていないとのこと。また、(以前は大森に、現在は横浜にある)ドイツ学園との交流も滞ってしまっているらしい。

これでは、120年を超えるドイツとの繋がりを自ら放棄しているのではないかと疑わざるを得ない。ドイツ大使館、東京ドイツ文化センター、ドイツ学園等との交流は、獨協の大切な役割である。

校長先生、教頭先生、ドイツ語の先生方におかれては、ぜひ直接ドイツ関係諸機関に足を運んでいただき、交流を復活してもらいたい。

3. 高等学校におけるドイツ教育の先導的役割を

ところで、私は高等学校ドイツ語教育研究会で役員を務めているが、その発足と発展には、獨協中学・高等学校のドイツ語教員であった糸井透先生、合田憲先生によるご尽力が欠かせないものであった。それに対して、最近数年、獨協のドイツ語教員の研究会参加が少ないことは非常に残念である。

確かに学内の業務は忙しいであろう。しかし、ドイツ語を開設している他の高等学校の教員や高等学校におけるドイツ語教育に関心を示している大学教員との研究交流は大切である。そして、獨協のドイツ語教員には、日本の高等学校におけるドイツ語教育の先導的な役割を果たさなければならないという自負を抱いていただきたい。また、校長先生におかれては、そのことに深い理解を示され、ドイツ語教員が安心して積極的に研究活動ができるようにご配慮をお願いしたい。

4. 全ての獨協生にドイツ語教育を

ドイツ語受験で大学に合格した私としては、大学受験レベルのドイツ語教育も大切にしてもらいたい。しかし、改めて強調させていただくが、全ての獨協生にドイツ・ドイツ語に慣れ親しませることが望まれる。

表2 英語以外の外国語を開設している高等学校数の推移

	平3	平5	平7	平9	平11	平13	平15	平17
中国語	111	154	192	303	372	424	475	553
韓国・朝鮮語	24	42	73	103	131	163	219	286
フランス語	109	128	147	191	206	215	235	248
スペイン語	32	39	43	68	77	84	101	105
ドイツ語	63	73	75	97	109	107	100	105
その他	11	17	40	47	52	53	64	58

具体的には、2年間(中学3年~高校1年、もしくは高校1年~高校2年)に、週1~2回の必修科目として「ドイツの言語と文化」を開設してはどうだろうか。

授業内容としては、ドイツ語そのものの学習は、挨拶や自己紹介から始めて、初歩的なことに留めておき、ドイツリートを歌ったり、ドイツの地理・歴史や文化を学んだり、環境先進国のド

表1 高等学校等における国際交流等の状況(平成16年度)

外国への修学旅行を実施した高等学校数	870校	行先がドイツは9校
外国からの教育旅行を受入れた高等学校数	618校	訪問国がドイツは24校
外国の学校と姉妹校提携を結んでいる高等学校数	876校	提携先校がドイツは13校

イツについて調べたりすることが考えられる。

5. ドイツとの国際交流を

表1に示したように、文部科学省の調査によると、ドイツへの修学旅行を実施した高等学校数は9校、ドイツからの教育旅行を受入れた高等学校数は24校、ドイツの学校と姉妹校提携を結んでいる高等学校数は13校もある。

獨協中学校・獨協高等学校は、ドイツとの交流に関して120年以上の歴史と伝統を有している。ドイツへの修学旅行、ドイツからの教育旅行の受入れ、ドイツの学校との姉妹校提携の可能性についても真剣に模索してもらいたい。

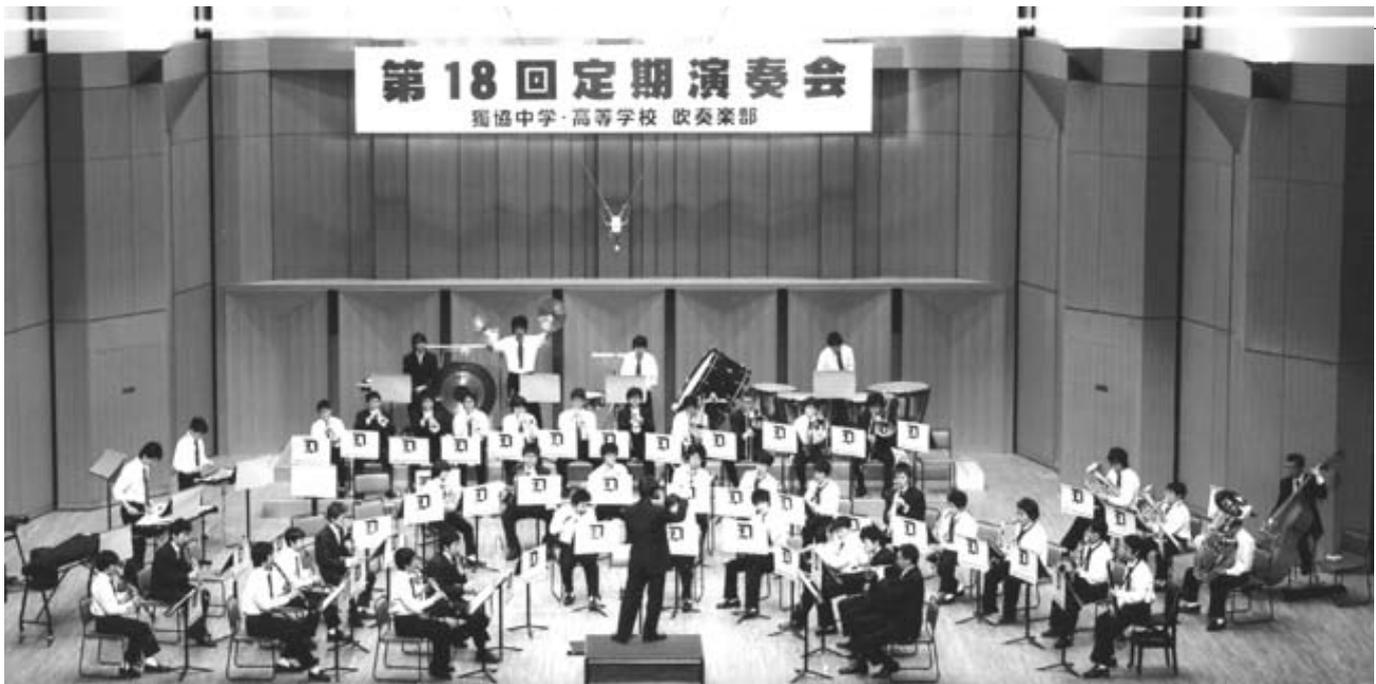
6. ドイツ語が学べる獨協のアピールを

最後になるが、表2にも示したように、英語以外の外国語を開設している高等学校は、年々増えている。文部科学省も1990年以来「高等学校外国語教育の多様化推進策」を実施しており、英語以外の外国語を学びたいと考えている生徒も少なくないのである。

他の私立学校との競争に勝つためにも、受験案内やホームページで、「ドイツ語が学べる獨協中学校・高等学校」ということの特徴を大いにアピールしてもらいたい。

第18回定期演奏会

獨協中学・高等学校 吹奏楽部



【獨協中学高等学校吹奏楽部第19回定期演奏会】

日時：平成18年3月27日(月) 17:30開場18:00開演 指揮：中浜圭

場所：かつしかシンフォニーヒルズ
(京成線青砥駅下車)

問い合わせ：顧問・長谷隆一 ☎3943 3651
E-mail ryu1hase@ka2.so-net.ne.jp

平成17年3月20日に第18回吹奏楽部定期演奏会が行われました。近年はコンクール金賞受賞による札幌公演、カテドラル教会での演奏など、活躍が続いております。さらに上を目指して部員一丸となって練習に取り組んでおります。

(平成元年卒・長谷隆一・数学科教諭)

私の近況

あと1ヶ月で92歳になります。 牛尾 衛(昭6卒)
今年93歳を迎えましたが、体調不安定なので、欠席の事御
許しを願います。 水野 亨(昭8卒)

内孫2人、外孫4人の孫があります。高3の1名を除いて
他は成人して働いて居ります。最近、嫁に行ったり、貰った
りで大忙しです。何人の首孫が出来ることやら楽しみにして
いる米寿を迎えた今日この頃です。 弓削 義邦(昭10卒)
故障持ちながら家庭菜園で体を動かし健康に留意してい
ます。 佐藤 吉人(昭10卒)

今年4月に米寿を迎えました。聴力は不自由乍ら、視力は
眼鏡のお蔭で不自由を感じません。獨協で培ったドイツ語は、
慶大独文科に進んで研鑽を重ね、内外の種々の仕事を通じ社
会に貢献できたと自負しています。 金子 義熙(昭10卒)

余生の健康に努めております。母校の発展をお祈り申し上
げます。 高橋 善三(昭11卒)

いまや弁護士もやめて無職で、歴史書などを読みあさっ
ております。 山本 茂(昭12卒)

脳梗塞のために脚が不自由となり出席できません。

織田 文二(昭13卒)

獨協通信いつも有難うございます。毎号楽しみにしてい
ます。 内田 恒道(昭14卒)

84歳になりましたが幸にボケもせず、カメラを肩に国内旅

行に出かけたり、ステレオレコードで音楽・落語を聴き、古
女房と口喧嘩をしながら過しています。 駒木 実(昭14卒)

獨協医大出身の次男が眼科を、小生は耳鼻科を隔日ながら
診療しています。現在もドイツ語に興味あり、鷗外のドイツ
語論文「日本家屋論」を翻訳し、本年1月雑誌「鷗外」に発
表しました。 高田 換(昭14卒)

心筋梗塞の症状の為欠席致します。 前波 八郎(昭15卒)
毎日森林浴をしながら一日一汗かいています。

井上 オー(昭15卒)

平成14年8月、80歳の高齢に達し閉院致しました。

景山 洋二(昭16卒)

心臓病(心筋梗塞後20年経過)のため静かに過して居り
ます。庭木の手入れや散歩等は楽しんで居ります。

上野 正重(昭16卒)

平成17年3月にてイチジク製菓(株)を退任いたしまし
た。 渡辺 弘正(昭16卒)

まだ日野市の精神科病院で臨床をやっております。錆つい
たドイツ語を又勉強しております。 高橋 芳和(昭16卒)

獨協通信いただきました。合田氏の記事・感激して読みま
した。私も元気に過して居りますが...寄る年波無為に毎日が
すぎてゆきます。何時も大変御世話様です。益々の御発展祈
ります。 合掌。 宮内 吉之輔(昭16卒)

私の近況

独歩会が16年秋、9名程出席して開催されましたが、出席人員の激減等のため、楽しかった母校の発展を祈念しつつ、此の会を最後に幕を閉じることになりました。

倉谷 三男四郎(昭16卒)

80歳のオイボレ剣道部OBいまだに週2回竹刀を握ってエイヤッポン。

宮田 仁(昭17卒)

まだまだ足腰は大丈夫。毎年庭の草取りが頭痛の種。趣味は水彩画、写真(風景、天体)読書(数学物語・歴史)等を楽しんでいます。

永嶋 宏(昭17卒)

満80歳、数年前心臓を患い、好きなゴルフを止められ趣味の水墨画を楽しみに過している。

神田橋 優(昭17卒)

満80歳になりました。宮城県知事賞・文部科学大臣賞を戴きました、有難い事です。

内田 東五(昭17卒)

小生80歳になりました。ゴルフでは歩いて18ホールを廻り、現役で社長を務めております。

福本 理(昭17卒)

55歳で禁煙。酒は体質的にあまり飲みませんが、一病息災の年金生活を夫婦二人で楽しんでいます。親友だった方々は昨年未までに冥土に旅立ちました。母校の益々の発展を遠く熊本から願っています。

鈴木 哲(昭17卒)

80路の坂を迎え、老化現象が著しい。最近では専らウォーキングに努めています。母校の発展を祈るや切(海城、巢鴨等に比し獨協の進学率の伸びを憂う。)

桜井 保光(昭17卒)

もう10年位、近所の小学校のクラブ活動で将棋の講師をしています。後何年か分りませんが下り坂をゆっくりと楽しく過して行き度いと思っています。

山口 勝(昭17卒)

平17年1月25日突然脳硬塞、只今ハビリ1週間1回頑張る。あと人生125年は一寸だめ。医業は秋で休業。あと、能面打ちで趣味と仕事で第二の人生の幕開きです。

長澤 豊行(昭17卒)

同窓会名簿が発行されるようですが楽しみに待っています。金額等はいくら位になりますか。

古山 宏(昭17卒)

老人ホームは梅干し婆さんばかり、悲しいよ、涙・涙・涙・涙。カラオケは何時も一等賞とる。みんなの似顔画よく頼まれる。

高橋 実(昭18卒)

平成14年に心筋梗塞で大手術をしたので目下養生中です。

北村 光夫(昭18卒)

2年前に内科医院を廃業し家内と一緒に老人ホーム暮しです。

原 元一(昭18卒)

視力は衰えましたが毎日独乙語の易しい本を見てます。昔、独乙語で受験し医師になりました。前田 公衛(昭18卒) 病氣療養中。

堀江 悟(昭18卒)

独乙語科の世話人を10年程続け、後任者に引継ぐも、後任者死亡し会は滅亡した。現在46名健在。最近の死没者は、太縄、野尻、増淵、白根、五十嵐、小峯、貝原、尾山(謙)船本、以上9名です。昨年5月9日クラス会参会者15名でした。

尾崎 守夫(昭18卒)

平成16年11月末にて医療生活に幕を閉じました。(年相応に諸機能低下、行動範囲も狭くなりました。)

押小路 忠雄(昭19卒)

毎年9月に53会を開いて旧友と逢うのを楽しみにしています。

佐藤 昭(昭19卒)

平成14年秋胃がんの手術をしICUに入り90日。その後、ペースメーカーを挿入し、平成17年4月に更に胃と小腸の吻合手術をしました。

三田 勤(昭19卒)

今年の総会は大学のクラス会のため欠席致しますが、同窓会は会報、名簿、総会を大事にして、基礎がためして、事業にかかることが必要でしょう。

佐藤 信行(昭19卒)

温泉医学の解説と普及に努めています(温泉療養のEBHに基づく滞在プログラムの普及)

植田 理彦(昭19卒)

御蔭で元気に過しております。

根本 泰宏(昭19卒)

毎日謡曲を1時間、読書と散歩で元気に生活しています。

“沈丁花白い満ちたる門に入る”

岡本 淑人(昭19卒)

老年の為、休院にしております。

兒島 成男(昭19卒)

脳硬塞で言語障害です。外は車椅子で歩いています。皆様によるしくお伝え下さい。

大森 勝朋(昭20 5 卒)

現在医師の指導の下、生活改善に努めています。

濱田 望(昭20 5 卒)

「獨協通信」をお送りいただきありがとうございます。目下、生活習慣病の治療に専念いたしております。皆様くれぐれもご自愛下さいますように。

志茂 昌幸(昭20 5 卒)

本年喜寿を迎えました。獨協通信紙上にて在校時懐しく思い起しております。時に級友、先輩の訃報を知り寂しくなります。総会・懇親会に出席出来ず残念です。

片倉 正博(昭20 5 卒)

現在地及港区表参道で開業。表参道は約13年位経過しております。

平 洋(昭20 5 卒)

5月16日で満78歳になりました。現役で診療に従事しています。年2回の健診で健康体でいます。

池田 正樹(昭20 5 卒)

学生時代市電の江戸川橋から、学校までの狭い坂道を何の考えもなく通っていましたが、幹事会の集りで久しぶりに歩いて息切れがし、あの青春時代も遠くなったことを実感しました。

神山 一郎(昭20 5 卒)

私の近況

元気で頑張ってます。大井 渙(昭20 5 卒)
22年間勤務した大学を学部長で定年退職、幸、仕事に恵まれ現在も働いています。細貝 祐太郎(昭20 5 卒)

腰痛ひどく外出がおもように出来ません、しかし午前中のみ患者をみています。宮田 光郎(昭20 5 卒)

体調不良で歩行は数百米位のみ可能と成り果てました。せめてボケ防止のため、NHKラジオでドイツ語を勉強して居ります。この一月には、獨協医大で肺ガンのチェック入院をし幸い結果はセーフとの事でした。母校の医大に感謝。

明石 鄰三郎(昭20 5 卒)

喜寿は越えましたがなんとか元気にしております。

林 昭(昭20 5 卒)

個人情報保護の立場からすると上記データ、シールドして送るものと考えます。今後御検討をお願いします。私の場合は高齢でもあり特に支障はないと思っています。

野田 眞男(昭20 4 卒)

胃切除12年、前立腺切除5年、大事な物がなくとも、人間よく生きておられるものと、感心します。7月7日トロッコ会に上京します。河野 豊(昭20 4 卒)

足利の地に、緩和ケア病棟が出来ないかと他力を頼りに頑張ってます。桑原 和彦(昭20 4 卒)

21世紀に入って憲法改正と言う重要な問題が提起されるようになりました。戦時下で悲惨な経験をした者として、憲法九条を守る会をつくろうとして頑張っています。無職、元気です。藤野 昭一(昭20 4 卒)

橋先生(歴史)は東条英機をバカ呼ばわり、俗称ベツラー(体育)「黄色人種が白色人種に勝てないよ!」ユニークな先生がいました。宮田 復太郎(昭21卒)

同年(英)の深川会は江口角蔵幹事・高木健造会長達のお世話で毎年集まっています。(20名前後)深川会由来は学徒動員の疎開工事先でのつながりです。小生はゴルフを楽しみ健康です。服部 忠男(昭21卒)

母校の発展を祈ります。静かな余生の毎日です。

横井 弘幸(昭21卒)

満76歳を過ぎ、妻に6年前先立たれ、何とか人の世話にならずに生きて居ります。福嶋 昌彦(昭22卒)

お世話になります。次回は出席したいと思っております。

安田 隆(昭22卒)

海外旅行に精をだしています。5月にウズベキスタンに行きました。美しく緑の多い、のどかな国です、と思ったら騒乱がおきました。本田 光芳(昭25卒)

相変わらず元気しております。総会出席の皆様によりしくお伝え下さい。鈴木 三郎(昭25卒)

健康で、よく歩いています。根来 恭雄(昭25卒)

自宅で娘の経営しているリサイクルショップ(ブランド品中心)の相談相手になっています。暇を見つけ、史蹟を歩き、美術館めぐりをしています。佐藤 正志(昭25卒)

年1回獨協ドクターズ“クラブ”には多くの同窓生が集い、講演会をはじめ永井校長先生のお話を伺い、獨協で学んでよかったとの思いを強くしております。昨今、英語を話せるのは当たり前となりましたが、ヨーロッパでのドイツ語の通用度は高いと思いますので、獨協中・高校時代にぜひドイツ語を学んで欲しいと願っています。木村 好秀(昭26卒)

拙宅が10月に完成予定。江戸川橋から急な目白坂を登り左に椿山荘、右側に立派に成った母校、隣にカテドラル教会等、緑が多く環境に恵まれたコースを散策している、足腰は多少弱ったが健康の有難さを痛感する毎日である。

細野 真一(昭26卒)

昨年3月で沼津高専を退職し、日曜を除く毎日、ナショナル・トレーニングセンターのプールとトレーニングジムに通っています。年金生活を元気にやっています。来春から成人講座の講師をする予定です。棚木 光雄(昭26卒)

33年間務めた地元の商店会長は、昨年71歳を迎えヤット引退させて貰いました。獨協卒後武蔵大学を経て家業を継ぐために丁稚奉公、商業の道を歩いて約50年、これからの人生こそ自分の人生と考え以降如何に有意義に暮らすか?まだまだ老うことなく進みたいと思っている昨今です。幸に健康で飯もうまい毎日です。筒井 昭(昭27卒)

同期の友人が亡くなるなかまだ現役で頑張っています。

太田 孝一郎(昭27卒)

通信第64号精読しました。母校の益々の発展をお祈り致します。まだ準社員で働いています。鈴木 康夫(昭27卒)

懐しい校章拝見しました。昭和26.3中途退学し大阪へ。平成6年4月定年退職後趣味の生活を送っております。私の中学時代の担任は新見先生でした。赤堀 光男(昭28卒)

最近2~3回、同窓会名簿から索引して電話をしてきた方があります。金融商品の売りこみです。情報流出は最小限にして下さい。村上 弘司(昭29卒)

趣味のウォーキング、歩行累計距離29,000kmに到達、目標4万km。春秋に歩いている「奥の細道」は今春、二本松から大河原を歩いて、宮城入り。完歩まであと10年。元気です。

与那原 邦夫(昭2卒)

私の近況

17.4.23(土)30年卒古川先生も出席なさり坂本直城君、森田孝君幹事で3年振りに飯田橋で同窓会があり50年振りに丸山幸三郎君、堀内寛君も出席されて盛大に行なわれました。(クラス会だより参照) 梅田 博(昭30卒)

毎日血圧を計り、その結果を皆様が役立つ様な論文として発表したいと考えています。 長畑 茂(昭30卒)

リタイアし2年、毎日サンデーの今を楽しく過ごしております。 土方 勝之(昭31卒)

胃ガン(オペ2回)・前立腺ガンをのりこえ元気に出動して居ります。 遠藤 和夫(昭31卒)

本年1月より三生会病院に勤務しております。

金丸 和男(昭31卒)

シニアクラブ会長として、ゲートボール、グランドボール、グランドゴルフ、旅行等に興じながら、日夜楽しい余生を送っています。毎年の同窓会で旧友に会うことを楽しみにしています。クラス会をやりたいですね。 小川 秀明(昭32卒)

このたび、技術書院より「建築/設備『マサカ』の話」を出版致しました。建築設備の各種トラブルについてわかり易く解説しました。 山本 廣資(昭33卒)

元気しております。 尾形 重夫(昭33卒)

昨年3月の定年退職後もひきつづき講師として母校での勤務をつづけていましたが、本年3月をもって退職しました、ありがとうございました。 飯島 義信(昭33卒)

東邦大学を定年退職しました。 老川 武(昭34卒)

昨年2月に退職、現在はゆっくりと時を過ごしています。いつまでも向上心を持っていたいものです。

中村 貴是(昭34卒)

平成16年3月勤務先を退職、現在は近くの幼稚園の送迎バスのドライバーをしています。 宮崎 安立(昭34卒)

獨協の卒業生が本当に先物取引をやる会社に勤めているのか判りませんが、獨協の名前を使って電話をかけてくるので、名簿を販売する時には商売や勧誘に使わない等注意文が必要なのではないでしょうか？ 坂井 義和(昭34卒)

公認会計士の現役で忙しく働いています。息子が会計士試験を受験中で、もう一頑張りです。 園田 光基(昭34卒)

国内・海外旅行やゴルフ等をやりにながら日々を楽しんでいます。 桑原 邦紀(昭34卒)

同窓会、生憎当日からボランティアの約束があり、参加できません。昨年よりも足腰の衰えを感じながら、毎週山歩きを楽しんでいます。 梅木 建昭(昭35卒)

64歳になりました。最前線で頑張ってきたのですが、元氣とは言え最前線は若いDRに任せ後方支援に徹する時期が

来たと思います。それにはどうするかをこれから考えながら仕事をする積りです。 津末 輝彦(昭35卒)

地方議員(母校所在文京区)をリタイア。公職として選挙管理委員に残っていますが、地元のボランティア、趣味にと、現職時並に時間に追われています。落付いた日々を送りたいと思いつつ…。 樋田 修廣(昭35卒)

毎年モンゴルへ乗馬に行っておりましたが、2年前より新築を計画し今年3月完成。又、モンゴルへ今年から乗馬の再開をめざして今トレーニングをやっております。大草原での乗馬は命の洗濯になります。皆様も一度体験してみたいかが(？) 津久井 強(昭35卒)

本年度より教職を辞し、専任産業医として、健康管理を担当することになりました。 鈴木 荘太郎(昭35卒)

ダイハツを定年退職。現在、日研総業(株)の顧問職で週4日勤務。 柴田 一彦(昭36卒)

昨年62歳で定年退職し、健康維持の為、ゴルフに専念致し、家ではパソコンを勉強して、充実した生活を送っております。 竹中 定直(昭36卒)

ハワイでの生活も20年を越えました。まだしばらくハワイで生活します。 黒川 曙美(昭36卒)

'03.3.31付で定年となりました。 牛田 義宣(昭36卒)

心筋梗塞、バイパス手術、無事生還、それから5年6ヶ月経過。1週間に3日程ジムに通い、マシンやフリーウエイトで体を鍛えています。出来た女房に感謝、感謝です。

黒崎 政男(昭37卒)

9月、ストライプハウスギャラリー(六本木)で字の個展の予定。11月第3回ウェリントン国際詩祭(ニュージーランド)から招待され、参加予定。 松本 匡史(昭37卒)

年金生活でのんびりやってます。 矢部 素男(昭37卒)

サラリーマン生活も終り今はのんびりと過しております。

安田 種光(昭38卒)

還暦も過ぎると、同窓会の案内通知が楽しくなるものです。仲間との再会を期待して。 朝山 一成(昭38卒)

還暦クラス会を秋に予定しています。会員名簿の送付をありがとうございました。住所不明者が多いので私も掘り起こしに協力したいと思います。 佐藤 忠一(昭39卒)

本年10月で定年退職となります。 本村 誠(昭39卒)

6月に中公新書『古代出雲への旅 幕末の旅日記から原風景を読む』を出版します。 関 和彦(昭40卒)

世の中、コンプライアンス重視が大変叫ばれていますが、高校時代に天野先生よりお話を頂いた「規範の中の自由」、「自由の中の自由は我が儘」は、いまだに鮮明に思い出さ

私の近況

れます。大沢 真輔(昭40卒)
相変わらず都立高校で数学を生業として暮しています。少しずつデカ栗に近づきつつ、デカ栗への収束をめざしています。石田 典昭(昭41卒)
6月12日ホテルローズガーデン新宿にて昭和38年中学卒業のクラス会を古川成太郎先生を囲んで開催します。昨年、脳硬塞で入院、右が悪くなりました。やっとここまで書けるようになりました。乱筆にて。香西 琢男(昭41卒)
品川弥二郎氏は、私の生誕地・京都市南禅寺の私の家に数年間滞在しておられました。氏の名入りカバンもありました。通信60号を見てすごい縁だと思いました。天野教育「真の自由とは」実践しています。磯谷 良仁(昭41卒)
4月からラジオのドイツ語講座を受講しています。最近では年齢的なものもありスベルは忘れていたため、逆に意味がよく理解できます。もしかして会話が上達するかも……。宮崎 輝雄(昭42卒)
マラソン、トライアスロンをやっております。今年は青梅マラソン大会30kmを完走しました。斉藤 達雄(昭43卒)
2006年はドイツW杯ですが、獨協サッカー部も設立50周年を迎えます。出来れば記念行事を開催(企画)したいので、各年代の取纏め役(当時の主将・主務)の方、ご連絡ください! 青木 正晴(昭43卒)
健康も優れ写真撮影活動も軌道に乗ってきました。郷土芸能の写真集も5冊目と、順調です。長道 英一(昭43卒)
獨協高校を卒業して、はや37年。あと5年で現役サラリーマンも卒業です。気持だけはいつまでも学生のままでいたいと思います。岡村 哲夫(昭43卒)
パーキンソン病の母と共に9年間、健康で働ける「ありがたさ」を感じる年齢となりました。吉田 賢隆(昭44卒)
糖尿病で肝硬変、肝細胞ガンです。5月16日に肝部分切除手術を受けました。(病室にて) 青木 秀夫(昭45卒)
早朝、目白駅より歩いたのを思い出します。今は能登の別荘で、早朝のハーフプレ-を楽しんでいます。郡司 正之(昭45卒)
個情法の趣旨から、本人の同意なしに名簿作成には反対、というよりも、やってはいけません。学校及び学園全体にも迷惑をかけることになるので、発行はみあわせられたい。鈴木 康正(昭46卒)
京都及び近隣に在住の獨協生、一度連絡を取り合いませんか? 片山 郁(昭46卒)
若者に人気のINDIES RECORDS会社をやっています。獨協生の都会的センスは誰にも負けません! 小山 寿明(昭47卒)

獨協の6年間で私を大人に育てていただきました。ドイツ語をやった良かったと思っております。難波 潤(昭47卒)
日本橋で法律事務所を開業しています。高齢化社会に伴う様々な法律相談にも応じて行きたいと思っています。戸崎 透(昭47卒)
皆様お元気でしょうか? 私は本年5月31日をもって日東病院を退職して、郡山市大槻町字日向7にて「めらくクリニック」を開設することになりました。今後ともよろしくお祈りします。米良 健太郎(昭47卒)
地元大宮医師会で理事(学術担当)を致しております。仕事も父の跡を継ぎ院長になり5年目になります。何をやってもなかなか大変です。箕田 進(昭47卒)
獨協で美術教師となり21年になります。最近ウクレレ演奏にはまり、毎日楽しんでます。渡邊 哲之(昭49卒)
伊豆大島でホテル椿園という旅館を経営しています。是非遊びにいらして下さい。清水 豊典(昭49卒)
インド弦楽器サランギ奏者として活躍しています。東北地方の発達障害をもつこどもの支援をしています。奈良 隆寛(昭49卒)
運動不足解消の為、息子と2人でロードサイクルを購入し、休日には約50~60kmのサイクリングコースを走っております。田中 謙光(昭50卒)
獨協通信送付ありがとうございます。なつかしい名前も見え、嬉しいかぎり、富井君は獨協の教師になったのですか? 頭良かったな彼。田中 哲也(昭50卒)
2年連続してクラス会が開催できました。木村重利先生を中心に15、6人で集まりましたが、来年はもっと同期が集れればと思います。一級先輩のS氏とサーキットガレージで知合うことが出来、30年位サーキットで遊んでいます。先輩がおられるとはびっくりでした。寺田 壮治(昭51卒)
銀行から勤続特別休暇をもらい、総会の日はスペインにいますので、今回は欠席します。高田 佳男(昭51卒)
獨協学園同窓医師の親睦組織「獨協学園ドクターズクラブ」の事務局をしています。ホームページをごらん下さい。http://www.ddclub.net 谷田貝 茂雄(昭51卒)
開業して9年目、上の子は小学校へ、下の子はやっと1歳、公私ともに忙しく毎日過ごしています。なかなか昔の仲間に出会えませんが、頑張っています。久志本 明人(昭52卒)
平成16年8月、海外新聞普及(株)デュセルドルフ(ドイツ)の駐在として赴任しております。連絡は留守宅宛で結構です。寺本 仁志(昭53卒)
皆様お元気ですか? 地元荒川で歯科開業し12年目を迎え

私の近況

ております。体が第一、週6回程スポクラにて泳ぎまくって
おり、現在獨中3年ラグビー部所属の長男にまだまだオヤジ
とは呼ばせません。皆様がんばりましょう!!気合いだ~!!

西原 由恭(昭53卒)

中1の子の野球(シニアリーグ)に熱をいれています。
医師として、頑張っています。 米倉 譲二(昭54卒)

平成16年11月、中野区野方でペインクリニックを開業し
ました。お役に立てることがあれば御相談下さい。

鳥海 和弘(昭54卒)

1月に体調を崩し、3週間程入院生活を送りましたが、
体重を13kg減らし、絶好調です。 野村 芳樹(昭54卒)

「乳ガン患者へのトータルアプローチ」という本を監修
発行(2005年5月、ピラールプレス社)致しました。ご興
味ある方はどうぞ、ご覧下さい。 長瀬 慈村(昭54卒)

巷は相変わらずコスト削減が大命題で、飛躍を夢見ない守
りの姿勢で仕事も楽しくない。自分ば「仕事は厳しく楽しく」
を社員達に言い聞かせています。せめて、我々だけでも夢を
持ちましょう!がんばれ獨協OB!! 鳥居 誠(昭54卒)

S60獨協医大卒業、長らく心臓血管外科に従事、平成15
年に信州中野で循環器科クリニックを開院しました。

長谷川 悟(昭54卒)

2人の子どもの育児に追われております。

杉本 豊彦(昭54卒)

平成16年12月に耳鼻咽喉科医院を開業しました。

後藤 裕一(昭55卒)

心臓血管外科医として、また医局長として頑張っていま
す。また登山も続けています。昨年は岩手山に4回登りま
した。 中島 隆之(昭55卒)

私は元気に父と医院をしています。進学状況が私共の頃
よりかなり悪くなりがっかりしてしまいました。がんばれ
獨協生。 上原 毅(昭56卒)

マレーシア勤務について4年目になります。

日下 竜司(昭57卒)

神谷善弘先輩の意見に賛成!! 私は中学から6年間英
語クラスでしたが、高校1~2年選択でドイツ語を学びま
した。約10年前ヨーロッパへ旅行に行きドイツ・オースト
リアでドイツ語を使ったところ通じました。鉄は熱いうち
に打つべきではないでしょうか?! 津田 恭彦(昭59卒)

近年獨協高校より東京医大入学者が少なく淋しいです。
頑張ってください。 梶原 直央(昭59卒)

小4(日本では5年生)の息子の英語がかなり上手になって
小生にもわからない発音をします。 山路 剛史(昭61卒)

この春、私が大変お世話になった木村先生、柏葉先生が
退職され獨協を卒業してからの年月を感じました。

岡本 浩一(昭61卒)

趣味のスキーを職業に選び、15年が経ちました。夏は木
こり、冬はスキーと、楽しく生活しております。妻と子供
2人、お金では買えない幸せをこの長野で体験しています。

高塚 政人(昭61卒)

2005年4月より米国ボストンに留学中です。

梶原 秀俊(昭62卒)

昨年結婚し、長女が産まれました。 染谷 芳明(平1卒)

5月9日に自宅にて開業しました。林内科歯科医院。
TEL 048-596-4141。 林 俊樹(平2卒)

米国勤務(サンフランシスコ)から昨年12月に戻ってき
ました。 谷内 拓生(平2卒)

現在は慶応大学医学部大学院で臨床・研究に忙しい日々
を送っています。 羽鳥 英樹(平3卒)

整形外科で非常に数の少ない骨軟部腫瘍を専門にがんば
っております。 田中 浩史(平3卒)

結婚をして世田谷に新居をかまえました。IT会社を経営
しています。 蓮沼 良尚(平4卒)

大阪勤務も8年になります。変わらず元気しております。
宗像 日出樹(平5卒)

今年より勤務先が変わりまして、現在は父と共に歯科医
療に従事しております。 新田 裕介(平5卒)

特に大きな変化もなく、楽しく仕事しております。あ
まり運動する時間もなくて最近運動不足かなと感じており
ます。 久保田 伊哉(平7卒)

区役所勤務も8年目となりました。娘も2歳となり、12月
中旬には、2人目が誕生予定です。 藤島 一郎(平7卒)

家業の学生服(県立高校・市内中学の制服)と大好きな
スニーカーショップをしています。楽天市場には「ソルディ
ーズ」のShop名で出店。スニーカーにかこまれて、楽しく働
いています。 田村 佑介(平7卒)

IT関連のメディアを転々としつつ、最近ようやく念願だっ
たゲームマスコミの仲間入りをしました。

吉岡 徹(平8卒)

就活中。 橋本 大和(平10卒)

小学校教員2年目となりました。子どもたちと充実した
毎日を過ごしています。 遠藤 誠一(平10卒)

現在は東京大学大学院の工学系研究科で核融合プラズマに
関する研究をしています。大学院卒業後、助手やポスド
クを目指すか一般企業に就職するかはまだ決めておりませ

私の近況

ん。高校時代に物理に興味をもったことがそのまま今の自分に繋がっていると思います。今後、同期会等の機会がございましたらご案内頂ければと思います。 岩城 寿紀(平10卒)

工業用ガスを扱う会社に勤務してます。高校時代、化学は苦手でしたが、がんばってます。 廣川 隆太(平11卒)

法科大学院にて日々勉学の毎日です。酒井安行先輩を目指してがんばります。 大嶋 勇樹(平11卒)

アメリカの大学院で経済修士課程、猛勉強中。(母、代筆)

三井 光(平11卒)

就活もそこそこに海外留学に向けて準備中です。

鄭 超元(平11卒)

台湾大學へ留学中。 山中 遼(平12卒・中学)

今年から大学院で偏微分方程式を研究しています。

宇津木 保則(平13卒)

遅ればせながら、僕も就職活動の時期となり、大忙しかと思いきや、案外そうでもありません。みなさん元気ですか。

渡来 智司(平13卒)

現在、麗澤大学と長生学園二部に通学しています。卒業後またボストン大の大学院へ東洋医学の治療師の腕をもって留学するのが夢です。

小林 昌芳(平14卒)

絵本作家を目指して大いに楽しみながら頑張っています。応援よろしくお願いします。

松浪 敢(平16卒)

忙しくて最近は大変ですが、楽しい大学生活を過ごしています。

正田 浩一(平16卒)

獨協大学経済学部経営学科に入学しました。

白鳥 寛之(平17卒)

明治大学商学部合格。現在、軽音楽サークルに所属しています。

勝瀬 昌彦(平17卒)

大学に入って、1ヵ月たち、学生生活になれてきました。これから、たくさん勉強して、社会に貢献したいです。

高野 圭児(平17卒)

開封が遅れ返信が間に合いませんでした。すみません、本人は浪人生で、来年に夢をたくし頑張っております。母記。

梶 友祐(平17卒)

クラス会だより

昭和17年卒 山紫会

今年は皆さんの思い出深い目白で集まろうとのことで、足の便もよい目白駅前にあるコマ・スビル4階の中華料理店「ジャスミン」に於いて5月24日に19名が集まり旧交を暖めた。

皆さん80歳で程度の差こそあれ、多少のヨレヨレの方もあったのはやむを得ないことではあるが、よく食べること、よく呑むこと、みんな立派な健常者、思い出話や時事評論に談論風発で賑やかに楽しい一時を過ごすことが出来た。お土産に当時から続いて営業中の関口ベーカリーのお菓子を持ち帰ってもらったのも一興で、またの再会を約して散会した。(吉田・記)



昭和18年卒英語科 獨協一八会

平成17年6月4日(土)恒例の獨協一八会クラス会を「アルカディア市ヶ谷」に、今回20名の参加で特に劉 祐上君の台湾からの出席、大阪 智君が歩行困難の身体を車椅子で娘さんの介護で出席。会の開催通知発送と共に、笹鹿 威君の逝去が、ご令室より連絡がありご冥福をお祈りしました。今回は出席の大久間先生が、お元気にご挨拶されました。篤くお礼申し上げます。

いつもながら、久しぶりの遠路からの出席者の出会い、開会前から賑やかで和やかな歓談、一同揃ったところで、同窓会・母校の近況を、田中君から、報告があり、乾杯、『獨協通信』への寄稿、総会出席



クラス会だより

促進をお願いし、清水君のハーモニカの演奏とともに、歓談も大いに弾み、一八会の発展と皆さんの健康を祈り、来年の6月3日(土)の再会を約しお開きとした。(幹事/友田 文夫・記)

昭和20年(4年卒業) 1組クラス会

昭和20年4年卒業生のうち1組の人は戦時中他の組と動員先が異なり、板橋にあった服部製作所で砲弾や爆弾の生産に従事していました。

今年(平成17年)は卒業60周年の記念の年にあたります。そこで5月7日(土)新橋にある九州工大鳳龍クラブで卒業60周年記念クラス会を開催し7名が参加しました。

全員喜寿を迎えましたが、幸いみんな極めて健康にめぐまれ談論風発、学生時代の話や江戸の風物詩について花が咲き、楽しいひと時を過ごしました。(桂 義之・記)



昭和20年卒獨逸語科 芽城会

桜花咲き乱れる陽春、平成17年4月3日(日)原宿駅近くの「南国酒家」で、芽城会が開催された。

「芽城会」は昭和20年5卒ドイツ語科のクラス会で、全員で3クラスほぼ160名はいたと思うが、当日集まったのは31名で、他に会員の夫人2名が参加した。

今年のクラス会は、卒業後60年の「還暦クラス会」とも言うべきもので皆が今年3月までに喜寿を迎えたお祝でもあった。今年の幹事は畦森公望、黒沼昭夫両君が引きうけてくれた。

会は、畦森君による開会の辞のあと、この60年間に惜しくも歸らぬ人となった級友52名の名前が読み上げられた。次いで黒沼昭夫君が幹事挨拶として、過ぎ越し学生時代の思い出、勤労奉仕、空襲時の防空壕でのこと、習志野の野営、府中大国魂神社まで

の夜間行軍などについて切々と述べられた。そして亡き友のためにしばし黙禱をささげた。

また、村田昭一郎(無量塔蔵六)君奏でる校歌のバイオリンをバックに米田武君からも同様の思いを込めた挨拶があった。次いで現獨協同総会長、宮田和夫氏及び獨協武蔵野会会長、中嶋真治氏から祝電が届き披露された。その後、乾杯に移り、それぞれ60年の月日に思いを廻らせての歓談となる、会も盛り上がった所で、畦森君の奥様〔芸名;藤間勸紗代〕により藤間流の日本舞踊「松の翠」、長唄「重ね扇」の2曲が披露された。一同感激しつつ拝見した。

この日出席の諸君には、畦森君が調達した獨協の校章をあしらったネクタイピンが記念品として渡され、さらに木村 保君が複製した学生時代(昭和19年頃)の先生方及び配属将校の写りが配布された。また、故佐々森君の資料から当時の各学年主管の一覧表も配られ、懐かしく当時が思い出された。記念すべき還暦のクラス会は盛会のうちに終り、来年の再会を約して帰途についた。

今回連絡できた級友は約70名、その内約3分の1の友が何らかの身体的な故障をもっていた。足腰の痛み、闘病生活、体調不良などを訴えている者が24名で毎年このような友が増えることは残念でならない。一日も早く回復されることを切に願うばかりだ。(常任幹事/神山 一郎・記)



許清泉君を囲んで、喜寿のクラス会

5月13日夕、新宿ワシントンホテルの和食レストランで、昭和17年獨逸学協会中学入学の、ドイツ語クラスの会が開かれた。今回は、先般の「獨協通信」で報じられた許清泉君を囲んでのものだった。彼は、戦前台湾から上京し、医師を志して、獨協に学ぶこととしたが、戦中戦後の厳しい状況の中で、志ならずして、帰台せざるを得なかった。愛知万博を機に

クラス会だより

訪日するとの連絡があつて、急遽集まることとなった。21名の出席があつた。昭和4年生まれ中心なので、喜寿の会でもあつた。白髪、禿頭と顔は変わつても、昔日の面影は、瞬時によみがえつた。昭和21年と翌22年に卒業したものに分れるが、いずれも、思い出は、60数年前の、尾久の兵器廠での勤労働員、3月10日の大空襲、戦後のひもじい食糧事情など辛い話題に集中した。しかし、そこにも、青春は、あつた。ロールペールの校歌を唱和して、4時間余にわたる楽しい時をしめくくつたことだつた。

(山崎 圭・記)



昭和23・24年卒 獨協十八会

平成17年5月28日、昨年と同様に目白椿山荘「錦水」で14名が参加しました。会は24回目を迎えました。次第に集まる人数が減ってくるのが気掛かりですが、今回は、自宅療養している戸倉君が、ご子息の付き添いで車椅子で参加しました。戸倉君は仲間と会うことで「元気」になると病を押しての参加、ワイワイ、ガヤガヤの楽しい一時を過ごしました。この会は、傘寿を迎える八十歳までは続けて行こうと皆で健闘を誓い、「錦水」玄関前で写真を撮影して散会しました。

(幹事/伊原 忠人・記)



昭和30年卒同窓会 三寿会

高校卒業後50周年の節目にあたり、4月23日に

素材屋飯田橋店で開催致しました。前回の出席者の中で、体調の芳しくない人も多く、最終の出席者は12名でした。お招きした古川先生は前夜は興奮されて、早朝4時に目を覚まされたとのことでした。

今回も新作落語を3作披露され、我々も甘楽さんの詩吟と私のつたないオカリナで、盛り上がりました。お互い楽しいお話をされたと推測します。予定の3時間は瞬く間に過ぎました。

今回、病いを押して出席された古川先生に感謝するとともに、現在病氣療養中の者や都合で今回出席出来なかった者とも、次回は是非元気な姿で再会できることを願うばかりです。

(森田 孝・記)



昭和40年卒 獨新会

2005年5月28日(土)、懐かしい江戸川橋の「やなぎ鮎」にて、昭和40年卒ドイツ語クラス「獨新会」を、国松先生、小平先生をお迎えして、5年振りに開催した。

今回は20名が参加し、久し振りに顔を合わせた仲間同士、大いに盛り上がった。残念と言えば、鐘君、北村君が他界するという訃報があつた事である。

各人の近況報告では、自然と健康に関する事が多くなったようであつた。来年は皆、還暦を迎える年であり、次回はその祝いを兼ねた「獨新会」を開催することで満場一致となり、また元気で再会する事を約束し、散会した。

(櫻田 可人・記)



昭和41年卒 獨協1月会

今年も1月第3週の1月15日(土)に開催しました。高校を卒業してから39年目の会になり、親父から爺と呼ばれる年代に入ってしまいました。

まだ現役を引退できない、団塊の世代の我々が、今年も恩師の神田先生を、築地の「さかなたけかわ」にお招きしました。

今回は、久しぶりに篠田君が参加してくれました。いつもながら、各自近況を報告し、先生の中国旅行や国内旅行を楽しんでらっしゃるとのお話をお聞きし、学生時代の話に花が咲きました。

来年は、川越の森田君が、幹事を引き受けてくれました、平成18年1月21日(土)に開催します。
(幹事/中村 昭美・記)



昭和49年卒 金先生小諸クラス会

恒例の小諸でのクラス会を8月27、28日に行いました。小諸の自然の中で、近所の農家から頂いた食べ切れない程のもぎたての桃に舌鼓を打ち、子供たちと真剣勝負の卓球大会では良い汗を流し、楽しい一泊二日を過ごしました。
(萩野・記)



平成5年卒 初代渡辺組クラス会

平成17年5月7日池袋「土風炉」にて、尊敬する

主管の渡辺和雄先生をお迎えして、卒業以来初めてのクラス会を開きました。高校卒業からはや10余年、太ったヤツやハゲたヤツ、全く変わらないヤツもいれば、ひげを蓄えて貫禄つけたヤツまで20名の参加者が揃い、時を忘れて大いに盛り上がりました。

ともあれ、渡辺先生の変わらない若さもさることながら、当時の騒がしい日3組は今も変わらず騒がしく、時の流れを感じたんだか、感じないんだか.....。

結局2次会3次会と調子に乗った我々に最後までお付き合い下さった渡辺先生に感謝するとともに、余り無理をせず、長生きして頂くことを切に願ってやみません。

今回は学年合同の同窓会でもやろうか。ねえ、田口。
(加藤 勝弘・記)



平成12年卒 3年1組クラス会

担任の富岡 卓先生をお招きし旧3年1組のクラス会が開催された。卒業から4年半を経て出席した約半数のクラスメイトの顔ぶれは社会人、大学生、大学院生と様々で、近況報告もバラエティーに富んだものでした。『と会うのは卒業してから初めて』という声も多く聞かれましたが、そこは毎日顔を合わせていた仲間同士、いざ話し始めると卒業前と変わらない関係が池袋西口の居酒屋で蘇っていました。

今回所用があって欠席した人は次回には是非出席を。
(伊禮 尚樹・記)



放送部OB会

植田先生満90歳、大久間先生満88歳、原田先生満82歳、三顧問の先生方がお元気なうち、また我々OBも出席できるうちに集まろうと昭和32年卒の井上正巳君、橋本正樹君、昭和34年卒の有我昭蔵君が中心になって11月13日懐かしい放送部OB会が開かれました。あいにく先生方は当日の体調やご予定からご参加がかなわず大変残念でしたが昭和29年卒から昭和38年卒までのOBが集合、「TBS ゆうゆうワイド」ほかで活躍中の大沢悠里君も久々の出席で進行役を引き受けてくれ大層盛会でした。食事をいただき乍らの近況報告は楽しい一時でしたが橋本君が50数年前に当時の放送部が生徒大会の様様を録音したソニーの紙製録音テープを披露、その一部を聴きましたが、当時高2の私には感無量でした。何せ独協再興の重要な切っ掛けとなった生徒大会でしたから。その際大活躍された昭和28年卒の菊池豊さん、小野孝教さん、西山小四郎さん、酒井府さん昭和29年卒の橋本克己君の声が判別でき当時の状況が走馬灯のように頭の中を巡りました。秋の陽が西の空に沈みかけた頃、再会を約束しつつ散会しました。(昭和29年卒 川口喜八郎・記)



第10回 日本大学医学部獨協会

日本大学医学部獨協会は、さる平成17年10月29日の土曜日、15名の先生方のご出席をいただき帝国ホテルの「寿の間」にて盛会裏に開催されました。例年通り、本会の会長であります消化器肝臓内科の荒川泰行先生(獨協高校昭和35年卒)の開会のご挨拶で会は始まりました。今回は10周年記念として、消化器外科の石井敬基先生に「呼気テストによる消化器疾患の病態診断」という特別講演をいた

だきました。

今回も獨協学園校長の永井伸一先生および金有一先生のご出席をいただき、両先生より現在の獨協高校の現状についてお話いただきました。

例年、本会より母校図書館に図書費として寄付をしておりますが、永井校長先生より、日本大学医学部獨協会寄贈図書コーナーとして本の充実が図られ、生徒さんにも喜んで頂いている旨のお言葉を頂き、当会としても嬉しく思う次第です。

最近、会の出席者が減少している中、本年は新入生を迎えられず、寂しい限りです。また、本会の運営も厳しくなり、諸般の事情もあり、来年以降の会の運営は不確かな状況です。(田中直英・記)



事務局だより

第64号訂正

第64号6ページ右35行目「(公立57校、私立43校)」を「(公立54校、私立46校)」に訂正。

第64号16ページ物故者名簿中 卒業年「昭和16年」の4名の方の卒業年を「昭和17年」に訂正。

獨協同窓会名簿の会則の訂正

(6)ページ 第5条中「常任理事30名」を「常任幹事30名以内」に訂正。

(9)ページ(施行)第1条中「平成5年10月22日から施行」を「平成13年6月16日から施行」に訂正。

名簿の訂正について

獨協同窓会名簿平成17年版発行時に以下の方の氏名が欠落していました。ご追加ください。

平成13年 白石 裕斗

〒156-0054 世田谷区桜ヶ丘1-9-5

Tel 03-3425-8925

名簿発行後に多数の方々から記載事項の変更のご連絡を頂いております。ご不明な点があれば、同窓会事務局へご連絡ください。